

令和元年度「地域住民を対象とした授業公開」実施報告書

学校名

長野県蓼科高等学校

課程 (全) 定午前午後夜ⅡⅢ・通

本年度実施した「地域住民を対象とした授業公開」について、次のとおり本校ホームページに掲載したことを報告します。

ホームページ掲載日	令和2年 2月 25日 (火)						
実施年月日(曜)	令和元年 9月 24日 (火)						
公開時間	13時30分～ 15時20分						
公開時限	5・6時限						
公開学年 公開教科	2学年 学校設定科目「蓼科学」						
公開対象者	どなたでも						
参観者数	校内		校外			その他	合計
	教職員	保護者	教職員	地域住民等	生徒	校内生徒	
	人	人	人	1人	人	32人	33人
参加者への応 対等について 特に配慮した 取組	地域の有線放送やケーブルテレビにて講座の案内と参加の呼びかけを行った。						
参観者からの 感想・意見の例	タブレット?時代の進化を感じます。教科書オンリーから自らの機械操作による学習へ。蓼科高校から世界に発信される時代へ。母校は正に母の懐の如く古い思いがよみがえってきます。130年の変遷を感じました。文化、スマホとタブレットの組み合わせ。孫?と習うことの楽しい2時間でした。 (70代男性)						
成果と課題	第15回目は、長野大学 企業情報学部 前川道博先生を講師にお迎えし、「地域・沖縄を持ち帰る視点」をテーマに講義していただいた。先輩方が“立科町探検隊”として作成したアーカイブを見たり、前々回に投稿した女神湖のカヌー体験の投稿を見直したりした。生徒も「個性があってももしろい」などの感想を抱いたようで、前川先生から「自分の言葉・視点で発信することで、オリジナリティーが生まれる」という大切なお話を伺った。また、沖縄の修学旅行に向けた学習もあり、地域住民の永井さんの体験談から、「かつてはパスポートがなければ沖縄にいけなかった」というお話や、鈍行列車と船を乗り継いで、3日近くかけて沖縄に行った話をお聞きした。当時を知る方のお話は大変貴重で、生徒も真剣に耳を傾けて聞いていた。						